

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：

事業所名：多機能型事業所 キートス・テトラ

		チェック項目	はい	いいえ	意見 (工夫している点、課題など)	課題や改善すべき点を踏まえた改善 内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		活動内容によって利用するスペースを変えている	
	2	職員の配置数は適切である	6		支援中は足りてはいるが、送迎スタッフが増えると良い	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1	駐車場の段差があり、ステップが必要と感じる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		物の整理をするよう気をつけています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		目標設定期間や上長との面談の期間が定められていて実施されやすい	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2	わからない	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		送迎時やモニタリングにて保護者とコミュニケーションとり目標を確認している	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		遠城寺を使用している	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		保護者参加型のイベントを実施している	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		モニタリング前に支援計画を見て立ち返る機会があるが、頻度を増やすとより良いと思う	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	最初の頃はメニューとその理由の説明があったが、次第に薄れてきているので度々説明があるといいと思う 特定の人が活動を考えている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		現在考案中	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	打ち合わせはしているが、送迎等があり時間がない時に共有ができない時もありホストが支援内容を考えることが時々ある。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	翌日に実施 翌日の朝礼にて実施	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		サービス提供記録に残している	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6				
関係機関 や保護者 との 連携 関係機	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		サービス提供記録に残している	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	2	いないのでわからない	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	2	いないのでわからない	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		送迎時や相談員を通じて連携をとっている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2	相談員を通して必要であれば担当者会議等を実施している 今後していきたい	

	チェック項目	はい	いいえ	意見 (工夫している点、課題など)	課題や改善すべき点を踏まえた改善 内容又は改善目標
関 や 保 護 者 と の 連 携	27	5	1	定期的に参加はできていない	
	28	1	5	障害のない子供と一緒に活動することはできていない	
	29		6		
	30	6		連絡は密にとっていると思う 電話で報告や送迎時に様子等を共有している	
	31	2	4		
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	32	4	2		
	33	6			
	34	6		保護者様からの悩み等は聞いてから自分で判断して答えることはなく一旦スタッフで共有をし、必要であれば管理者から保護者様へ連絡することをしている。 送迎時やモニタリングでは行えている	
	35	4	2	保護者様向けの勉強会や茶話会を実施している。 保護者参加型の勉強会や交流会は企画できている 放デイの保護者向けのイベントが多くなるので、今後児発向けも企画したい	
	36	6			
	37	4	2	定期的には行えていない	
	38	6		各々注意はしているが人的ミスが多いため、チェックを怠らないようにしたい	
	39	6			
	40	3	3	地域のイベントに参加する等	
	非 常 時 等 の 対 応	41	3	3	児発では行えていない 児発では訓練を行っていない
42		4	2		
43		6			
44		5	1	医師の指示書は見たことがない。	
45		4	2	インシデント報告はあるが、今後整備する必要があると思う ヒヤリハット事例集は見たことがない。	
46		6			
47		6			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。